

# 通常の学級において特別な教育的支援を必要とする 児童の理解と支援のあり方

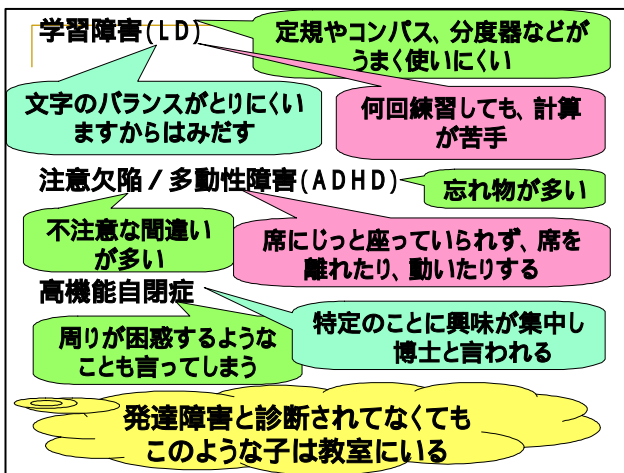
教育相談課 長期研修生 中島優子

通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する全国実態調査より

- 通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒の割合 約6.3%

<研究の目的>

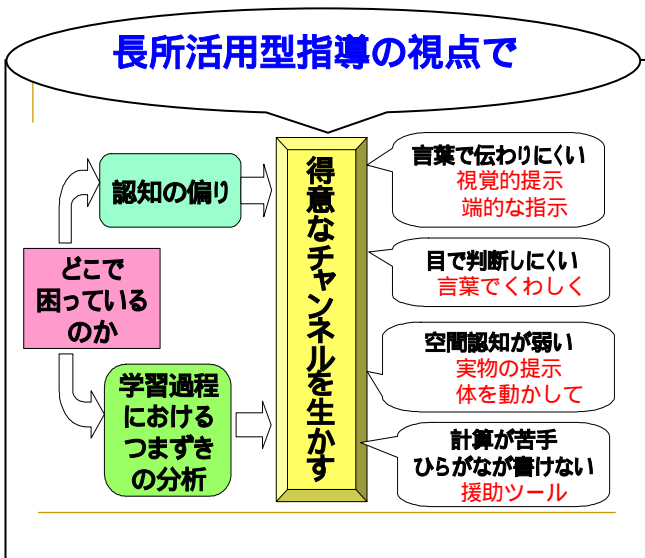
- 発達障害等の原因により、様々な困難さがあり、困り感がある子どもたちの特性を理解し、適切な支援の方法を探る。
- 通常の学級に在籍しながら、学習に対して困り感を感じている子どもたちが生き生きと学習に取り組めるような支援の方法を見つける。



<仮説>

認知能力の偏り、理解力や生育環境の問題などの原因で学習についていけない子どもたちも適切な支援があれば、学習を理解できるようになり、できるという達成感により次の学習への意欲が持てるようになるのではないかと考えた。

<支援の方法>



<1年：算数の実践>

数える：具体物や半具体物を使って

鉛筆とキャップのマッチング



10玉そろばん  
で1つずつ



10の固まりをつくって

算数ゲームをしながら楽しく



たして10になると  
もらえる「神経衰弱」

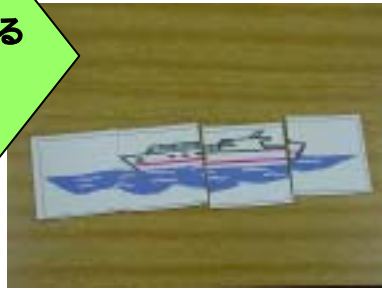
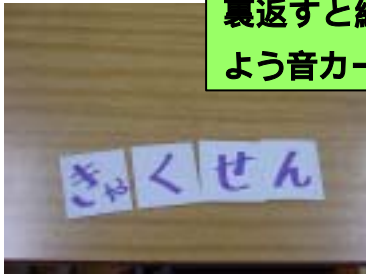


同じ数ならもらえる  
「神経衰弱」

2つのさいころの目を  
たして進む「すごろく」

<1年：言葉の実践>

裏返すと絵が出る  
よう音カード

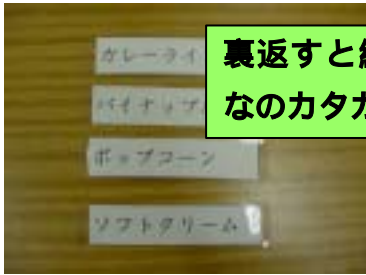


教材文の工夫



フェリーボートは、たくさ  
んの 人と じどう車を いっ  
しょに はこぶ ための ふ  
ねです。  
この ふねの 中には、き  
くしつや 車を とめて お  
く ところが あります。  
人は、車を ふねに いれ  
てから、さやくしつで 休  
みます。

裏返すと絵とひらが  
なのカタカナカード



<3年：漢字の実践>

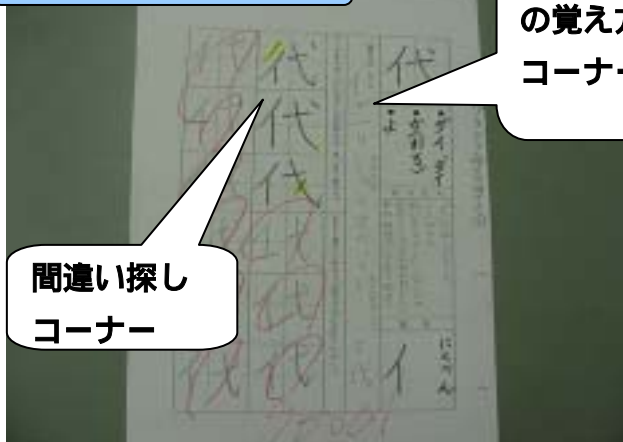
覚え方を考えて漢字カードに



文字を言葉として捉えるため  
に、名詞を赤字、動詞を青字に  
した教材文

自分なりの覚え方を  
見つける

プリントにして宿題に



間違い探し  
コーナー

自分なりの  
覚え方  
コーナー

まとめ

1年生では学習レディネスをふまえた指導が必要である。遊びや生活の中で意識して育てていくことが大切である。子どもの困り感に気づき、児童の課題を的確に把握し、適切な支援をする。繰り返しの学習方法では効果がない場合は、得意なチャンネルを生かした別の学習方法を見つけることが大切である。